

## 自然環境保全再生分科会（第24期・第二回）議事録

<出席者（敬称略）>

委員：鷺谷、吉田、一ノ瀬、豊田、安福、安田、森本

参考人：吉澤泰輔氏（国交省）、末續野百合氏（環境省）

オブザーバー：栗林孝典氏（国交省）、尼子直輝氏（環境省）

### 1. 前回議事録の確認

### 2. 提言のフォローアップ：EcoDRRに関わる国土交通省および環境省の政策について

国交省から吉澤泰輔氏、環境省から末續野百合氏をお招きし、EcoDRR, GI(グリーンインフラ)に関する政策・社会実装の進捗状況について、話題提供いただいた。その後、委員、オブザーバーを交えて意見交換を行った。GIの社会実装に関して、以下のような課題が出された。

- ・生態系の維持管理による機能向上の評価検証を行うこと。
- ・複合的な生態系機能の評価手法を開発すること。
- ・地域の生態系機能を維持する担い手と、科学者・研究者をつなぐ仕組みづくり。
- ・人口減にともなう実行可能な選択肢が減っていくなか、地域に根差したGIを整備するために、地域にとって何が重要かを議論する場。
- ・地方自治体レベルでも、温暖化適応策の検討をすること。
- ・GIの概念、自然・社会の不確実性を一般住民への浸透を進めるため、メディアの活用。
- ・機能評価も大切だが、お年寄りの原風景を若い世代に共有することは効果がある。
- ・GIの社会実装は、都市マスタープランに入らないと進まない。
- ・グレイをグリーンに変えることで、減災効果は何割減少するか、多機能性はどれだけ上昇するか、といった定量的な値の提示。
- ・国土利用計画で安全基準を設置しており、守れなければ訴訟問題になる。法制度の見直しも要検討。

### 3. 環境省自然環境局から学術会議に対して「人口減少・高齢化社会における野生動物の管理」に関する審議依頼がなされ、近々山極会長が提案者となり新しい課題別委員会が立ち上がることになった。答申案がまとまったら、その内容を分科会でも検討したい。

### 4. 次回分科会（11月2日15時～17時）では自然再生推進法に関わる自然再生基本方針の改定案について、環境省自然環境計画課担当者からのヒアリングを行うことが決まった。

### 5. 議事録については委員内メールで回覧のうえ、修正等は委員長に一任することとした。

以上